



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月20日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
コード番号 2411 URL <https://www.gendai-a.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一
四半期報告書提出予定日 2023年1月31日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5308-9888

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,719	4.7	350	82.3	364	79.5	293	127.1
2022年3月期第3四半期	5,460		192		203		129	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 292百万円 (127.1%) 2022年3月期第3四半期 128百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.88	
2022年3月期第3四半期	8.72	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	5,652	4,341	76.8	336.91
2022年3月期	6,254	4,476	71.6	326.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,341百万円 2022年3月期 4,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		3.00		4.00	7.00
2023年3月期		7.00			
2023年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	7.7	400	34.8	400	27.7	320	29.3	23.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,700,000 株	2022年3月期	15,050,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	812,900 株	2022年3月期	1,350,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,428,085 株	2022年3月期3Q	14,843,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予

想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による悪化影響が緩和されたものの、急激な為替の変動や世界的な原材料価格の高騰など、未だ厳しい状況は続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、来店者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には至らず、収益面で厳しい状況は続いております。11月の次世代パチスロ機導入により、業界全体で一定の盛り上がりは見せたものの、今後も継続して次世代遊技機への投資が控えていることもあり、広告需要は限定的な増加にとどまりました。その一方で、パチンコホール以外の広告分野において、現在力を入れているフィットネス施設等においては、前年と比較し、広告需要は回復基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。また、引き続き販管費等の抑制に努めました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,719百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は350百万円（同82.3%増）、経常利益は364百万円（同79.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は293百万円（同127.1%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第3四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、この11月より導入された次世代パチスロ機の告知や年末年始に向けた広告出稿は一時的に増加したものの、それ以前においては、パチンコホールの収益低迷や、新機種導入に向けた設備投資資金の確保が必要であったことから、広告費を含む支出は抑制傾向にありました。加えて、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は低迷する状況にありました。特に取扱高は大きいものの利益率の低い紙媒体は、原材料高騰の影響もあり、コロナ禍前と比較して大幅に減少し、インターネット広告へのシフトがより鮮明となりました。パチンコホール広告以外の分野の広告市場においては、フィットネス施設広告需要や、連結子会社(株)ユーアンドユーにおいて開拓を進めている住宅関連分野における広告需要は、堅調に推移しました。

こうした環境下において、当社グループでは、パチンコホール施設、フィットネス施設以外の市場開拓をより積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は、主として紙媒体広告の需要減少により5,672百万円（前年同期比4.9%増）にとどまったものの、利益率の高いインターネット広告が堅調に推移したことにより、セグメント利益は519百万円（同36.8%増）となりました。

(不動産事業)

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益は計画通りでしたが、この期間、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料の計上はありませんでした。

その結果、売上高は38百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益は15百万円（同30.9%減）となりました。

(その他)

当第3四半期連結累計期間においては、キャンピングカーレンタル事業等による、売上高は8百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,652百万円となり、前連結会計年度末比602百万円の減少となりました。これは、主に借入金の返済等により現金及び預金が617百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,310百万円となり、前連結会計年度末比467百万円の減少となりました。これは、主に借入金が431百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,341百万円となり、前連結会計年度末比134百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当148百万円及び自己株式取得277百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間の業績は、当初計画を若干上回り進捗しておりますが、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,984	3,366
受取手形、売掛金及び契約資産	1,048	1,096
未収還付法人税等	5	39
その他	70	68
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	5,107	4,571
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	521
その他(純額)	62	72
有形固定資産合計	583	594
無形固定資産		
のれん	48	39
その他	62	79
無形固定資産合計	111	118
投資その他の資産	451	367
固定資産合計	1,146	1,080
資産合計	6,254	5,652
負債の部		
流動負債		
買掛金	568	568
短期借入金	200	—
1年内返済予定の長期借入金	287	187
未払法人税等	54	31
その他	179	165
流動負債合計	1,289	952
固定負債		
長期借入金	450	318
資産除去債務	8	8
その他	29	30
固定負債合計	488	357
負債合計	1,777	1,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,713	1,261
利益剰余金	3,111	3,256
自己株式	△449	△274
株主資本合計	4,475	4,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△0
その他の包括利益累計額合計	1	△0
純資産合計	4,476	4,341
負債純資産合計	6,254	5,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,460	5,719
売上原価	3,885	3,979
売上総利益	1,574	1,739
販売費及び一般管理費	1,382	1,389
営業利益	192	350
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	2	0
受取配当金	6	2
為替差益	4	10
その他	3	6
営業外収益合計	16	19
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	2	2
営業外費用合計	5	5
経常利益	203	364
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	198	364
法人税、住民税及び事業税	71	65
法人税等調整額	△1	5
法人税等合計	69	71
四半期純利益	129	293
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	293

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	129	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
その他の包括利益合計	△0	△2
四半期包括利益	128	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128	291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年6月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式812,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が277百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2022年9月16日開催の取締役会決議に基づき、2022年9月30日付で、自己株式1,350,000株の消却を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ452百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,407	44	5,452	8	5,460	—	5,460
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,407	44	5,452	8	5,460	—	5,460
セグメント利益又は損失 (△)	380	21	402	△0	401	△209	192

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△209百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△209百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,672	38	5,710	8	5,719	—	5,719
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,672	38	5,710	8	5,719	—	5,719
セグメント利益又は損失 (△)	519	15	535	△0	534	△184	350

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△184百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	2,113	102.5
インターネット	1,897	118.2
販促物	724	91.9
クリエイティブ	374	107.5
媒体	162	87.2
その他	400	96.0
広告事業計	5,672	104.9
不動産事業	38	85.1
その他	8	101.7
合計	5,719	104.7